

2013年度 前期				リフレクションペーパー			
学科名	建築・デザイン学科						
科目名	プロダクト演習						
科目区分	専門科目		単位数	4	開講時期	3年次前期	
必修・選択の別	デザインコース／選択必修科目 建築工学コース／選択科目 建築コース／選択科目						
担当者	松本 誠一						
授業の到達目標 (シラバスから)	・ユニバーサルデザインの考え方を理解し、デザインに活用できる(D1)。 工業材料の成形方法や製作技術を理解し、デザインに活用できる(D1)。 ・企画からデザイン、モデル製作まで、一貫して行うことができる(D1)。 ・デザインの学修と成果を的確に表現するプレゼンテーション能力を身に付ける(A2)。						
日程と内容	第1回 4/10 導入講義 授業の概要 成績評価の方法 第2回 4/17 課題提示 ユニバーサルデザイン 第3回 4/24 セラミックの型で作る成形方法 第4回 5/1 デザインコンセプトの確立 第5回 5/8 セラミックの型による成形の条件（デザイン上の条件） 第6回 5/15 アイデア展開 1 第7回 5/22 アイデア展開 2 中間発表 1 第8回 5/29 ラフ図面作成 1 第9回 6/9 ラフ図面作成 2 中間発表 2 第10回 6/12 正面図・側面図・平面図 彩色 第11回 6/19 モデル作成 1 第12回 6/23 モデル作成 2 第13回 7/3 モデル作成 3 第14回 7/10 モデル作成 4 ポートフォリオの作成 第15回 7/15 発表・プレゼンテーション						
成績評価基準	定期試験			実技			
	臨時試験			部外評価			
				プレゼンテーション		40%	
	課題 演習		60%	計		100%	
授業到達目標の達成度	工業製品の造形の特徴である「型で成形する」という考え方と、型で成形する造形の特徴は、課題を成し遂げた受講生は理解することができたと判断している。						
反省点	複雑な曲面を持つ造形の、図面とモデル作成の精度が低いことが上げられる。この点は次年度の課題としたい。						
来年度の計画	同等の内容を実施する。						
授業評価アンケートに対するコメント	学生の授業評価は8.3。 「楽しく学ぶことができた。」という意見が多数あった。受講生にとっては初めて学ぶ内容であったので、楽しみながらモノを設計して制作することに努めた。						
履修登録者数	32 名	定期試験 受験者数		合格者数	27 名	合格率	84%